

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- 12番染色体(12トリソミー) (依頼コード No.3876・57094)
- 20q12 (20q-) (依頼コード No.7241・57106)

※弊社システムの都合により4桁と5桁のコードNo.があります。

受託開始日 2016年1月5日(火) 受付分より

12番染色体の過剰(12トリソミー)は、慢性リンパ性白血病(B-CLL)でよくみられる染色体異常で、他に11番染色体長腕欠失[del(11q)]、13番染色体長腕欠失[del(13q)]、14番染色体長腕q32の異常などがありますが、その中でも12トリソミーは約30%と最も頻度が高く、予後への影響は中程度とされています。CLL細胞は増殖が遅く分裂細胞を得にくいいため、G分染法上での分析が難しく、G分染法による12トリソミーの検出率に比べFISH法による検出率は約2倍という報告もあり、間期核でのFISH法が有用です。

20番染色体長腕q12に位置するD20S108は、骨髓異形成症候群(MDS)の5~8%、PV(真性多血症)の5%、ANLL(急性非リンパ性白血病)の2~3%、またCML(慢性骨髄性白血病)やMF(骨髄線維症)など、広範囲の病型に共通して欠失のみられる部位です。MDSでは、20番染色体長腕欠失の単独異常は血小板減少を高頻度に伴う一方で貧血は軽い傾向があり、急性白血病への移行も比較的少なく、予後は良好とされています。MDSは臨床転帰の多様な疾患であることから、予後予測の指標として有用です。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領

検査項目名	12番染色体	20q12 (20q-)
依頼コードNo.	3876・57094	7241・57106
統一コード	8B420-0000-019-841	—
検体必要量	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL
容器	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23	血液 B-18 骨髄液 X-2
検体の保存方法	冷蔵、凍結不可	冷蔵、凍結不可
所要日数	5～10	5～10
検査方法	FISH法	FISH法
検査実施料/判断料	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)

※骨髄液の採取について

穿刺の前に注射器管内をヘパリンで潤した後、ヘパリンを完全に排出。

穿刺液は採取後空気を入れてゆっくり転倒混和し(注射針を取りはずす)、専用容器(培養液入り)に約0.5mL入れ、ゆるやかに転倒混和して冷蔵保存。雑菌等が混入しないようお願いいたします。

【検査方法の参考文献】 稲澤 譲治: FISH 実験プロトコール, 128-136, 1994. (秀潤社)